

劣悪な作業環境に警告！

エアコンの増設置を求めて緊急申し入れ！

J S 労は8月30日、鳥飼事業所の洗濯場へのエアコンの増設置を要求する緊急申し入れを行いました。この洗濯場には、大型洗濯機が2台と大型乾燥機が2台設置されており、サービックで使用する清掃用のクロス（雑巾）や車両所で働くJ R社員の制服（サービック社員の制服は含まない）を洗濯し乾燥させる作業を行っています。また、この洗濯場には、J R社員の更衣スペースも設けられています。このような状況の中で、何とエアコンが1台とサーキュレーターが1台しか設置されていません。

室内温度は最高37.4℃

異常な暑さが続く中で、その外気温と相まって室内温度は最高37.4℃に達した日がありました。J S 労の調査によると、この洗濯場では、1日4回にわたり温度と湿度を作業場の入り口ドア付近、中央、J R社員の更衣スペース付近の3箇所測定し記録しています。そのデータによると、この8月では、最高温度の平均値が36.5℃、最高湿度の平均値が50.7%と、いつ熱中症になってもおかしくない環境下で作業を行ってきたことがわかりました

記録されたデータは活かされず！

今日もまた、劣悪な環境下で洗濯場の担当者は懸命に働いています。8月も終わり9月を迎えますが、この暑さは10月まで続くと報じられています。1日でも早い対応を求めますが、これまで記録したデータはどの様に認識され活かされて来たのでしょうか。まさか、知っていて黙っていたということはないですね。

JS労HPのQRコード

**J S 労は働きやすい職場環境を
一番に考え実行して行きます！！**

[メールアドレス・jsrou@yahoo.ne.jp](mailto:jsrou@yahoo.ne.jp)

